

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	母性看護学援助論Ⅱ	1	15	2年次	9月	高木みか 高松三穂子
授業概要 妊娠・分娩・産褥期、新生児の正常から逸脱した状態について理解し、必要な看護について学ぶ内容とする。						
到達目標 1. 正常から逸脱した妊娠・分娩・産褥の経過について、病態・生理、治療および対象に応じた看護の実際を理解する 2. ハイリスク新生児の病態・生理、治療を理解し、患児に応じた看護の実際を理解する						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 母性看護学〔2〕母性看護学各論：医学書院 参考文献等 病気がみえる⑩ 産科（メディックメディア）						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
10時間・5回	1.正常から逸脱した妊娠期の経過 1)ハイリスク妊娠の定義 2)スクリーニング 3)正常から逸脱した妊娠の病態と治療（流産・早産・感染症・常位胎盤早期剥離・前置胎盤・妊娠高血圧症候群・異所性妊娠） 2.正常から逸脱した分娩期の経過 正常から逸脱した分娩の病態と治療（胎位異常・胎児機能不全、分娩時損傷、異常出血、前期破水、帝王切開術） 3.正常から逸脱した産褥期の経過 正常から逸脱した産褥の病態と治療（肺塞栓、産褥熱、産褥感染症、子宮復古不全、乳房の異常、精神障害） 4.正常から逸脱した新生児の生理的特徴 異常新生児の病態と治療（低出生体重児、先天異常、呼吸障害、新生児溶血性障害、分娩損傷、その他の異常）					講義
4時間・2回	5.正常から逸脱した妊娠期・分娩期・産褥期・新生児の看護 1)正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦と家族の看護 2)ハイリスク新生児の看護 3)子どもの障害受容や死の転帰を迎えた場合の看護					講義
1時間・1回	筆記試験（45分）					
備考						

